

**平成28年度全国高等学校総合体育大会
第66回全国高等学校スキー大会要項**

- 1 主催 (公財) 全国高等学校体育連盟 (公財) 全日本スキー連盟 群馬県
群馬県教育委員会 片品村 片品村教育委員会
- 2 共催 読売新聞社
- 3 後援 スポーツ庁 (公財) 日本体育協会 日本放送協会 (公財) 群馬県スポーツ協会
片品村体育協会
- 4 主管 (公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部 群馬県高等学校体育連盟
群馬県スキー連盟 片品スキークラブ 尾瀬スノースポーツクラブ
- 5 協力 陸上自衛隊
- 6 期日 平成29年2月2日(木)～6日(月)
(1) 開会式 2月2日(木)
(2) 競技 2月3日(金)～6日(月)
(3) 閉会式 2月6日(月)
- 7 会場 (1) 開会式 片品村文化センター
(2) 競技 アルペン スノーパーク尾瀬戸倉
クロスカントリー 尾瀬ほたか高原スポーツパーク・
クロスカントリーコース
(武尊牧場スキー場内)
スペシャルジャンプ 片品シャンツェ
(四季の森ホワイトワールド尾瀬岩鞍隣接)
ノルディックコンバインド 片品シャンツェ
尾瀬ほたか高原スポーツパーク・
クロスカントリーコース
(武尊牧場スキー場内)
(3) 閉会式 片品村文化センター

8 種目

男 子	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャイアントスラローム ・ スラローム ・ クロスカントリー10km (クラシカル) ・ クロスカントリー10km (フリー) ・ スペシャルジャンプ (HS: 83m) ・ ノルディックコンバインド ・ リレー (10km×4人 1・2走クラシカル 3・4走フリー)
女 子	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャイアントスラローム ・ スラローム ・ クロスカントリー5km (クラシカル) ・ クロスカントリー5km (フリー) ・ リレー (5km×3人 1走クラシカル 2・3走フリー) ・ スペシャルジャンプ (HS: 83m) 公開競技

9 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月1日 (水)	12:00	ジャンプ種目TCM	片品シャンツェ
2月2日 (木)	9:00	ジャンプ種目公式練習及びノルディックコンバインド予備ラウンド	片品シャンツェ
	14:00	開 会 式	片品村文化センター
	16:00	アルペン種目TCM	尾瀬高原ホテル
	16:00	クロスカントリー種目TCM	花の駅 花咲の湯
2月3日 (金)	9:00	スペシャルジャンプ (女子公開競技に引き続き男子競技)	片品シャンツェ
	9:30	女子ジャイアントスラローム	スノーパーク尾瀬戸倉
	9:30	女子クロスカントリー 5km (フリー)	尾瀬はたか高原スポーツパーク・ クロスカントリーコース
	13:30	男子クロスカントリー 10km (フリー)	
	17:00	アルペン種目TCM	尾瀬高原ホテル
2月4日 (土)	9:00	ノルディックコンバインドジャンプ	片品シャンツェ
	9:30	男子ジャイアントスラローム	スノーパーク尾瀬戸倉
	10:00	女子クロスカントリー 5km (クラシカル)	尾瀬はたか高原スポーツパーク・ クロスカントリーコース
	14:00	ノルディックコンバインドクロスカントリー 10km (フリー)	
	17:00	アルペン種目TCM	尾瀬高原ホテル
2月5日 (日)	9:30	女子スラローム	スノーパーク尾瀬戸倉
	10:00	男子クロスカントリー 10km (クラシカル)	尾瀬はたか高原スポーツパーク・ クロスカントリーコース
	17:00	アルペン種目TCM	尾瀬高原ホテル
2月6日 (月)	9:00	男子スラローム	スノーパーク尾瀬戸倉
	9:30	女子リレー (5km×3人)	尾瀬はたか高原スポーツパーク・ クロスカントリーコース
	11:30	男子リレー (10km×4人)	
	15:30	閉 会 式	片品村文化センター

10 競技規則

(公財) 全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した (公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

11 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険 (スポーツ安全保険等) に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

12 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校 (中等教育学校後期課程を含む) に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、スキー専門部に登録し、(公財) 全日本スキー連盟に会員登録と競技者登録 (SAJデータバンク登録者一覧に記載された者) を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。

- (3) 年齢は、1997年（平成9年）4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは同一競技への参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。

大会開始前のエントリー変更期限前に6か月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。

- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例

ア. 上記（1）（2）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規程に従い大会参加を認める。

イ. 上記（3）の但し書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

13 出場制限

- (1) 1校からの出場選手について、アルペン及びクロスカントリー種目は、1種目男女とも3名以内とし補欠は両種目とも1名とする。ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）は、制限を加えず、補欠は存在しない。但し、いずれの場合も都道府県予選通過者に限る。リレーは、1チームとする（男子は6名連記、女子は5名連記）。また、出場選手は1人2種目以内とする。但し、リレーはこの限りではない。
- (2) 平成28年度都道府県種目別出場人員枠を別表1のとおり制限する。

- (3) 予選会の開催が不可能な都道府県は、当該高等学校体育連盟スキー専門部長及び各都道府県高等学校体育連盟会長の推薦によって出場することができる。
- (4) (公財)全日本スキー連盟推薦による海外派遣等のため、各都道府県予選会に出場できなかった者は、所定の手続きの上、その都道府県の枠外で本大会に出場できる(海外特枠選手)。但し、この場合は補欠選手との交替はできない。
- (5) 開催都道府県は、各種目3名、リレー1チームの増を認める。
- (6) 補欠選手は、各都道府県の予選会において、その都道府県の出場枠内順位であって各校出場枠外にあった場合、その種目該当校に1名の補欠選手を認める。補欠選手を設けた場合は、補欠選手の数だけ予選会の順位を繰り上げてエントリーすることができる。(各都道府県の出場枠に、補欠選手は含まない。)
- (7) 出場選手のランキングは、各都道府県予選会の順位とする。但し、補欠選手及び1校出場枠を超える選手があった場合は、繰り上げランキングとする。
- (8) 補欠選手と正選手の交替は、当該種目実施前日の16時までに大会実施本部において受け付け、組織委員会の判断において決定する。交替が認められた選手は、アルペン種目においてはチームキャプテンミーティングで連絡し、クロスカンントリー種目の当該校には電話又はFAXで連絡する。併せて、大会ホームページ及び公式掲示板で告知する。
- (9) 外国人留学生の参加については、男女とも1校1名までとする。

14 抽 選

- (1) ノルディック種目は、あらかじめ仮出発番号を定めるものとし、各都道府県の出場制限数によって各グループの仮出発番号の抽選を行う。
- (2) ①海外派遣等の選手を海外特枠選手として出場させている学校で、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込むこと。申し込み後の変更は認めない。
②ジャンプ種目(スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド)において1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込むこと。申し込み後の変更は認めない。
- (3) 抽選は、平成29年1月23日(月)午前9時から大会事務局において行う。抽選責任者は、(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部とし、参加チーム代表者は希望によって立ち会うことができる。なお、抽選については、(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部細則による。
- (4) 抽選方法は次のとおりとする。
 - ①アルペン種目は6グループに、ノルディック種目(リレーは除く)は4グループに区分する。
 - ②ノルディック種目のグループ分けは、出場枠に応じてランキング1から順に第4グループから割り振る。以下、第3・第2・第1グループまで均等に分ける。
 - ③アルペン種目においては、前年度入賞者と第1グループ内のSAJポイント上位を含めた15名を特別グループとする。
 - ④各グループ別人数については、別表2により区分する。
 - ⑤(公財)全日本スキー連盟推薦による海外特別枠選手の区分は、アルペン種目は第1グループ、ノルディック種目については第4グループの後に位置し、それが複数の場合は抽選でスタート番号を決める。
- (5) 出発順は次のとおりとする。
 - ①クロスカンントリー種目(リレーは除く)は、第3、第4、第2、第1のグループ順を原則とする。
 - ②ジャンプ種目は、第1、第2、第3、第4のグループを原則とする。
 - ③ノルディックコンバインド10kmはグンダーセン方式とする。
 - ④アルペンは男女とも各グループ内でポイント順とし、第1グループ内の特別グループ選手(15名)及び各グループ内のノーポイントの選手においては、抽選により出発順を定める。
- (6) 補欠選手との入れ替え
正選手と補欠選手の入替えは、スタート番号を変えずに正選手のスタート番号にて補欠選手をスタートさせる。

15 採点方法

(1) 入賞得点は次のとおりとする。(女子ジャンプ公開競技は点数計算に入らない。)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- (2) 個人入賞で同順位の場合は、次位を空席とし該当する得点を合計し、同順位者数で割った点数を得点とする。
- (3) 総合優勝は総合最高得点校であり、同点の場合は各種目の上位入賞者数(3位まで)により決定する。なお、それでも決定しない場合は、リレー競技の順位により決定する。
- (4) 2位以下の順位決定は得点順とするが、同点の場合は同順位とし、次位を空席とする。
- (5) 前項14抽選(2)に示す選手の出場で、1校4名以上の出場となった場合の得点対象はあらかじめ指定した3名のみとし、対象外者の得点は次位者に与える。

16 表 彰

(1) 総合の部

- ① 優勝校には、男女とも(公財)全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。(持ち回りとする)
- ② 賞状は、男女とも1位から6位まで授与する。
- ③ 優勝校には、男女ともNHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- ④ 表彰は閉会式において行う。

(2) 種目別の部

- ① 男女とも1位から10位まで賞状を授与する。
- ② 男女とも各種目3位まで(公財)全日本スキー連盟制定のメダルを授与する。
- ③ 表彰は各競技終了後、各競技会場にて行う。
- ④ 女子スペシャルジャンプ公開競技種目は、(公財)全国高体連スキー専門部で6位まで表彰する。

17 参加申込

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込書類

- ア. 大会参加申込通知書 (様式1)
- イ. 都道府県選手団役員編成表 (様式2)
※選手団役員の編成は、団長・副団長・総監督・総務・種目別監督各1名とする。
- ウ. 種目別参加申込書 (様式3R・3A・3N)
- エ. 学校別出場認知書【男女別とする】(様式4)
※各学校の監督・マネージャーはそれぞれ3名以内とする。
また、競技者登録番号の記入のないものは受け付けない。
- オ. 都道府県役員来会申請書 (様式5)
- カ. 視察申請書【視察員を派遣する都道府県のみ】(様式6)
- キ. 都道府県予選会公式記録 1部
- ク. 学校別宿泊申込書
役員・視察員宿泊申込書(インターネットにて登録後プリントアウトする)

*** 宿泊申込みについては、片品村観光協会HPよりインターネットにて学校ごとに行う。
役員、視察員は都道府県代表者が行うこと(宿泊要項「7 宿泊申込み」参照)。**

(2) 申込方法

<参加校>

申込書類エ(様式4)及びク(学校別宿泊申込書)を作成し各都道府県申込責任者へ提出すること。

<各都道府県申込責任者>

- ① 申込書類ア～クを、一括して「簡易書留速達」で送付すること。封筒に「大会申込書在中」と朱書きすること。
- ② 申込書類ア～キの電子データを(3)に示す群馬県実行委員会事務局メールアドレスに送信すること。
* 申込書類エ(様式4)及びキ(公式記録)についてはFAX可。
- ③ 参加料・プログラム代金(合計金額)の送金は「銀行振込」とし、振込金受領書のコピーを申込書類に同封するか、第2回全国委員会に持参すること。
- ④ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。
- ⑤ 申込後の選手(補欠を含む)の変更は認めない。

(3) 申込先

〒371-0805
群馬県前橋市南町4-35-1
群馬県高等学校体育連盟事務局(前橋商業高等学校内)
平成28年度全国高等学校総合体育大会
第66回全国高等学校スキー大会群馬県実行委員会事務局
TEL 027-224-5046
FAX 027-221-9606
E-mail gunma66ski@wing.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://gunma66ski.com/>

(4) 申込期限

申込書類一式:平成29年1月21日(土)正午必着

(5) 参加料(選手のみ)及びプログラム代金

個人 : 1種目4,000円

リレー : 男子1チーム8,000円、女子1チーム6,000円

プログラム: 1部1,000円、参加校に男女各1部を無料配付する。その他は実費で販売する。

【※参加申込と同時に参加料・プログラム代金の合計額を納入すること。】

【振込先】

◎参加料及びプログラム代金

金融機関名	群馬銀行
店番号	117 前橋駅南支店
普通口座	0685517
口座名義	ダイロクジュウロッカ化ベンコスキー大会 会 長 坂田和文

18 宿 泊

- (1) 宿泊の申込については、必ず大会実行委員会事務局を経由することとし、指定された方法・期日厳守で申込むこと。
- (2) 詳細については、宿泊要項を参照のこと。

19 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を受けた場合は、主催者が応急処置を行い医療機関まで輸送する。以後は各学校で処置するものとする。

20 注意事項

- (1) 参加選手はあらかじめ傷害保険（独立行政法人日本スポーツ振興センターを含む）に加入していること。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は、すべての行動に対して責任を負うものとする。
- (3) 大会実施本部は、群馬県立尾瀬高等学校内に開設する。
都道府県選手団代表者は、大会実施本部にて受付を済ませること。なお、受付は、平成29年1月28日（土）からとする。（9：00～17：00）

21 実行委員会事務局及び大会実施本部連絡先

《実行委員会事務局》

〒371-0805

群馬県前橋市南町4-35-1

群馬県高等学校体育連盟事務局（前橋商業高等学校内）

平成28年度全国高等学校総合体育大会

第66回全国高等学校スキー大会群馬県実行委員会事務局

TEL 027-224-5046 FAX 027-221-9606

E-mail gunma66ski@wing.ocn.ne.jp

HPアドレス <http://gunma66ski.com/>

《大会実施本部》

〒378-0301

群馬県沼田市利根町平川1406（尾瀬高等学校内）

TEL 0278-25-8385 FAX 0278-25-8386

E-mail gunma66ski@wing.ocn.ne.jp